

国際発信のための創造活動基盤の調査等業務

平成 31 年 3 月 28 日

S e t - u p 株式会社

前文（背景と目的）

文化庁においては、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を我が国の文化芸術や文化財、伝統芸能等の価値観を世界に発信するまたとないう機会ととらえている。

その基盤となる我が国の芸術団体の創造活動については、舞台芸術創造活動活性化事業等により、創造活動に係る稽古費・音楽費・文芸費等を対象経費として支援されている。一方で、多くの芸術団体からは、稽古場、倉庫等の確保が年々困難な状況であるとの意見があるが、その実状や課題については、文化庁内では整理されていない。

このことを踏まえ、本調査は、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益社団法人日本劇団協議会の協力を得て、平成17年度より芸術団体に稽古場として施設を提供している芸能花伝舎の稼働状況や、芸術団体（主に演劇）の創造活動におけるバックヤードの現状と課題を整理するとともに、課題解決に向けた芸術団体の創造活動基盤の充実に関する検討を行うとともに、さらに足立区の協力を得て、課題解決に向けたモデルケースの想定を取りまとめたものである。

目 次

<本編>

1. 芸術団体に稽古場として施設を提供している芸能花伝舎の稼働状況	
(1) 芸能花伝舎の概要	・・・ 1
1) 位置	
2) 沿革	
3) 施設	
(2) 芸能花伝舎の稼働状況	・・・ 9
1) 創造スペースの状況	
2) 事務所スペースの状況	
3) 維持管理の状況	
(3) 芸能花伝舎の活用状況からみえるバックヤードの課題 (稼働状況・潜在的な需要から見たバックヤードの空間的・機能的課題)	・・・ 13
2. 芸術団体（主に演劇）の創造活動におけるバックヤードの現状と課題	
(1) 人材育成/トレーニング/練習のための空間に関する現状と課題	・・・ 14
1) 東京圏における主な練習施設	
2) 練習施設に関する課題	
(2) 各団体の事務局機能とストックヤードに関する現状と課題	・・・ 15
3. 上記課題の解決に向け、芸術団体の創造活動基盤の充実に関する検討等	
(1) 新たな創造活動基盤の必要性	・・・ 16
(2) 創造活動基盤の備えるべき空間・機能など	・・・ 16
(3) 立地	・・・ 17
4. その他、上記の実施に必要な業務（モデルケースの想定）	
(1) 立地特性	・・・ 18
(2) 施設概要	・・・ 19
(3) 活用に向けての課題	・・・ 20

<資料編>

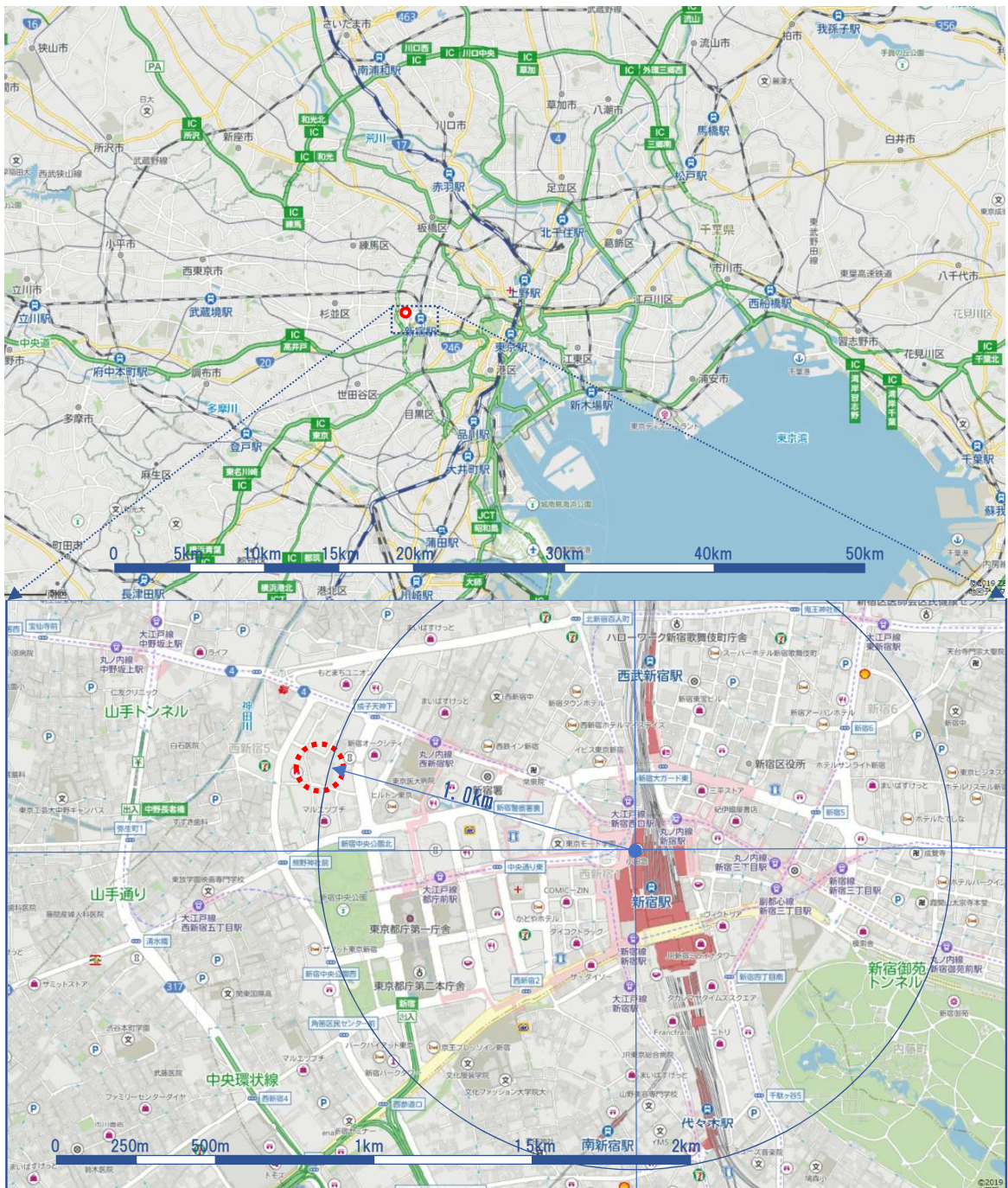
* 活用例	<資-1>
* 概算整備費	<資-2>
* 千寿第五小学校図面	<資-3>

<本 編>

1. 芸術団体に稽古場として施設を提供している芸能花伝舎の稼働状況

(1) 芸能花伝舎の概要

1) 位置



芸能花伝舎は、新宿駅から直線距離で約 1km、徒歩約 20 分の西新宿 6 丁目にある。最寄り駅は地下鉄丸ノ内線西新宿駅で徒歩 5 分の位置にある。

新宿駅は、JR 山手線、中央総武線、小田急線、京王線、地下鉄大江戸線、新宿線、丸ノ内線などが乗り入れる日本最大のターミナル駅で、1 日平均乗降者数約 350 万人、地下道などで接続する西武新宿駅・新宿西口駅まで含めると約 380 万人となる。

首都高速 4 号新宿線、中央環状線の西新宿 JCT から近く、東京都心の西側の拠点と言える交通至便な位置にある。

2) 沿革

芸能花伝舎は、2005 年に廃校となっていた「新宿区立淀橋第三小学校」を稽古場、事務所などとしてリノベーションし、さまざまな芸能活動をサポートする施設として誕生した。

1915 年	新宿区立淀橋第三小学校創立
1997 年 3 月	区立淀橋第三小学校 閉校（旧淀橋第六小学校と統合）
2003 年 5 月	新宿区からの旧淀橋第三小学校跡地利用についての提案を受け「芸能文化研究教育センター（仮称）」事業計画案をまとめる
2004 年 5 月	新宿区議会総務区民委員会に、貸与について報告、了承される
2004 年 11 月	新宿区と合同記者発表
2005 年 1 月	改修工事着工
2005 年 4 月	芸能花伝舎として運営開始
2007 年 9 月	プール跡地を活用し、稽古場 2 室を含む建物〔C棟〕を新設
2014 年 7 月	開館 10 周年を機に大規模改修に着手（～2015 年 3 月）
2015 年 3 月	新宿区との間に新たに 10 年間の賃貸借契約を締結（～2025.3）

運営を行うのは公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（以下、芸団協）である。芸団協は 1965（昭和 40）年に設立され、実演芸術にまつわる 69 の協会や連盟などから構成されている（2018 年 7 月現在）。「実演芸術」とは「生身の人間」が演じたり、歌ったり演奏したり踊ったりする芸術表現の総称で、芸団協の加盟団体は能楽、文楽、伝統音楽、日本舞踊といった伝統芸能から、オペラ、バレエ、現代演劇、落語、ベリーダンスやフラメンコなどの舞踊、映画などのメディア芸術、また演出家や照明家等の舞台技術スタッフまで、ジャンルは多岐にわたる。さらに各協会の傘下には、例えば「日本劇団協議会」であれば「文学座」「青年劇場」といったように、多くの団体や個人が集結しており、各ジャンルの普及・発展に努めている。会長を務める能楽師・人間国宝の野村萬氏が、芸能の「真の花」を咲かせる場であるようにとの思いを込め、世阿弥の「風姿花伝」から命名した。

芸団協は 1974 年から 5 年ごとに会員団体とその傘下の実演家やスタッフ等を対象に生活実態や稽古場など活動状況を調査研究し、浮かび上がったのが、実演芸術のための「稽古場不足」であった。稽古場となるスペースが足りないだけでなく、実演芸術の 1 ヶ月などの長期にわたる稽古を受け入れる施設がないため、日ごとに稽古場をわたり歩くような状況があった。長期利用を可能にし、さらに舞台セットの建て込みをしたままにできるスペースを確保するなど、安心して稽古ができ、しかも手ごろな値段で利用できるスペースの整備が必要であった。

一方で、少子化による小学校の廃校が増加し、廃校した学校建物の有効活用が自治体の課題となっていた。芸団協では、廃校の状況を都内の広範囲に渡って調査した上で、

- ① 芸団協の事務所が 1997 年から新宿区内にあったこと。
- ② JR、地下鉄の駅からも近いこと。

- ③ 青梅街道があり、大型トラックなど車の出入りもしやすいこと。
- ④ 都内の小学校には珍しく校庭も広かったこと。
- ⑤ 新宿区が「10年」という長期契約を許容したこと。

から、芸団協の創立40周年を機に、さまざまな課題の解決と理念実現のための文化拠点として設置された。

当時の中山弘子新宿区長の「新宿の魅力は文化の集合体なのだと捉え、その一つひとつの文化をフィーチャーしていくことでイメージを向上させていきたい。」という思いもあり、「歌舞伎町ルネッサンス協議会」の設置や「クリエイターズ・フェスタ」といった一大アートイベントも立ち上がり、芸能花伝舎も新宿区と文化協定を締結し、芸団協が区の文化事業に協力する形でスタートした。

芸能花伝舎は、実演芸術の稽古場だけではなく、2階、3階の事務所スペースには、芸団協を含めさまざまな協会の事務所が入っており、芸団協が企画提案する体験や鑑賞イベントなどの文化事業にも相互に協力している。例として、夏休みは子ども向けに、秋と春は大人向けに、楽器や狂言の体験など、新宿区「文化体験プログラム」を実施している。2016年度からは新たに「伝統文化理解教育」として、新宿区内の29小学校で、狂言や落語などの伝統芸能体験の出前授業を始めている。区からの実演家派遣の要請を受け、学校と実演家をつなぐコーディネーターの役目を芸団協が担っている。

芸団協と区の共催で、毎年5月5日に子どもたちに向けて行う「芸術体験ひろば」は、コンサートや人形劇の鑑賞、三味線や日本舞踊などの体験、舞台衣装や舞台音響のワークショップなど、数多くのプログラムを一日に凝縮した一大イベントで、地元町会が校庭に模擬店を出すなど、花伝舎だけでなく、地域一帯のお祭りとなっており、関東近隣から多い時では延べ5000人以上の来場がある。

ほかにも、訪日・在日外国人を対象にした伝統芸能の体験イベントなど、今後、旅行社や観光関係団体など、異分野、多ジャンルとも協力できれば、東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの展開、そして2020年以降も、実演芸術という文化を全国でますます広げる大きな拠点となる可能性がある。

芸能花伝舎は、単なる実演芸術の稽古場の整備にとどまらず、参画団体の交流と創造の場、市民も実演芸術を楽しむ場、地域住民や区民、特に子供たちを通じた交流と教育の場として、実演芸術の振興にむけた様々な活動の拠点となっている。

オープン以来約15年を経て、稼働率が年々良くなってきたことで、逆に希望通りの予約が取りにくくなったという大きな課題が出てきている。

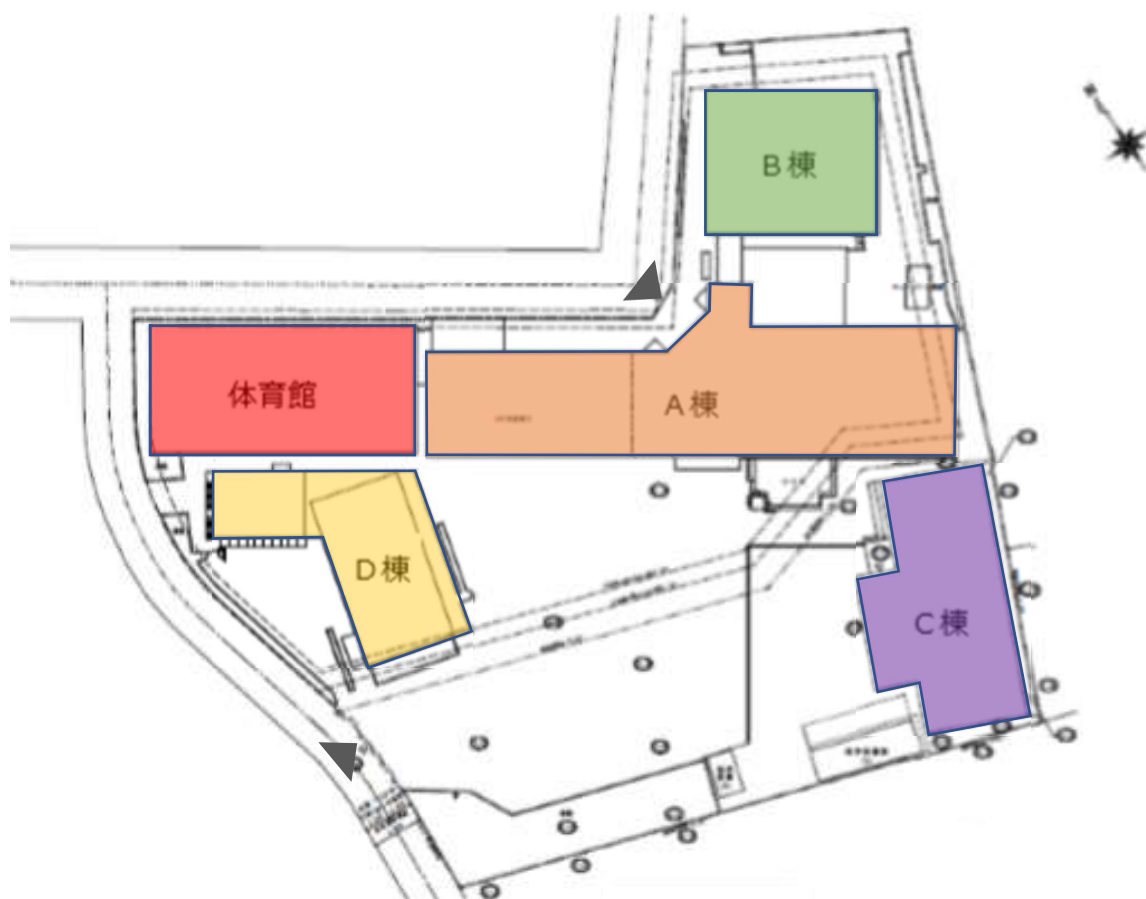


3) 施設

芸能花伝舎は、前述の通り「新宿区立淀橋第三小学校」の校舎をリノベーションし、稽古・会議・催事・撮影等、創造のための 11 の貸し出しスペース、16 の文化芸術関連団体が入居する事務所で構成されている。

敷地及び建物の面積 構成				
所在地	東京都新宿区西新宿6-12-30			
都市計画	用途地域	商業地域	基準容積率	600 %
			基準建蔽率	80 %
敷地面積	6,336 m ²			
延床面積	4,751 m ²			
本校舎 (A 棟)	(3,155)* m ²	鉄筋コンクリート造3階		
	1 F	稽古場 4 室 (A 1, A 2, A 3, A 4) / 共用スペース/受付		
	2 F	事務所 7 室 (9 団体)		
	3 F	事務所 7 室 (7 団体)		
特別教室棟 (B 棟)	(3,155)* m ²	鉄筋コンクリート造3階		
	1 F	稽古場 2 室 (B 1 a, B 1 b)		
	2 F	稽古場 1 室 (B 2) / 共用スペース		
	3 F	稽古場 1 室 (B 3)		
幼稚園棟 (D 棟)	570 m ²	鉄筋コンクリート造 2 階		
※ 1 団体の占有使用	1 F	事務所 稽古場		
	2 F	講義室 2 室		
体育館棟	495 m ²	鉄骨造 1 階		
C 棟	531 m ²	鉄骨造2階		
	1 F	稽古場 2 室 (C 1, C 2)		
	2 F	更衣室 トイレ		

* ()内はA棟とB棟の合計面積



創造スペースの概要は、以下の通り。

A1	A棟 1 F				A2	A棟 1 F			
サイズ	7.3m×16m×3m(梁あり)				サイズ	7.3m×8m×3m(梁あり)			
面積	116.8㎡ (約35坪)				面積	58.4㎡ (約18坪)			
収容人員	スクール形式 60人				収容人員	スクール形式 30人			
	シアター形式 90人								
床仕様	フローリング				床仕様	フローリング (学校床)			
壁仕様	1面鏡				壁仕様	黒板			
	遮光カーテン					遮光カーテン			
設備	CD/MD、ワイヤレスマイク				設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可					Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)					無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	ピアノ(貸出) 1,000円/日				備品	ピアノ(貸出) 1,000円/日			
	47インチモニター					32インチモニター			
	テーブル(180cm*60cm 14本)					テーブル(180cm*60cm 6本)			
	スタッキングチェア(90脚)					スタッキングチェア(20脚)			
	ハンガーラック、ハンガー					ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード					ホワイトボード			
利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00	利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00
	-13:00	-17:30	-22:00	-22:00		-13:00	-17:30	-22:00	-22:00
(円)	8,000	12,000	12,000	27,000	(円)	5,000	7,000	7,000	17,000

A3	A棟 1 F				A4	A棟 1 F			
サイズ	7.3m×8m×3m(梁あり)				サイズ	10.0m×12m×3m(梁あり)			
面積	58.4㎡ (約18坪)				面積	120㎡ (約34坪)			
収容人員	スクール形式 30人				更衣室	カーテン間仕切			
床仕様	フローリング (学校床)				床仕様	フローリング			
壁仕様	黒板				壁仕様	1面鏡			
	遮光カーテン								
設備	CD/DVD/USB				設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可					Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)					無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	ピアノ(貸出) 1,000円/日				備品	ピアノ(貸出) 1,000円/日			
	32インチモニター					32インチモニター			
	テーブル(180cm*60cm 6本)					テーブル(180cm*60cm 10本)			
	スタッキングチェア(20脚)					スタッキングチェア(20脚)			
	ハンガーラック、ハンガー					ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード					ホワイトボード			
利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00	利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00
	-13:00	-17:30	-22:00	-22:00		-13:00	-17:30	-22:00	-22:00
(円)	5,000	7,000	7,000	17,000	(円)	8,500	14,000	14,000	31,000



A 1



A 2



A 3



A 4

B1a	B棟 1 F			
サイズ	8m×14m×3m(梁あり)			
面積	112㎡ (約34坪)			
更衣スペース	カーテン仕切			
床仕様	リノリウム (TFリユーム)			
壁仕様	1面鏡			
設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	電子ピアノ(貸出) 1,000円/日			
	バレエバー			
	32インチモニター			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(10脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00 -13:00	13:00 -17:30	17:30 -22:00	10:00 -22:00
(円)	7,500	11,500	11,500	26,000

B1b	B棟 1 F			
サイズ	8m×14m×3m(梁あり)			
面積	112㎡ (約34坪)			
更衣スペース	カーテン仕切			
床仕様	リノリウム (TFリユーム)			
壁仕様	1面鏡			
設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	電子ピアノ(貸出) 1,000円/日			
	バレエバー			
	32インチモニター			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(10脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00 -13:00	13:00 -17:30	17:30 -22:00	10:00 -22:00
(円)	7,500	11,500	11,500	26,000

B2	B棟2 F			
サイズ	8m×14m×3m(梁あり)			
面積	112㎡ (約34坪)			
更衣スペース	カーテン仕切			
床仕様	リノリウム (TFリユーム)			
壁仕様	1面鏡			
設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	電子ピアノ(貸出) 1,000円/日			
	バレエバー			
	32インチモニター			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(10脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00 -13:00	13:00 -17:30	17:30 -22:00	10:00 -22:00
(円)	7,500	11,500	11,500	26,000

B3	B棟3 F			
サイズ	8m×14m×3m(梁あり)			
面積	112㎡ (約34坪)			
防音	簡易防音			
更衣スペース	カーテン仕切			
床仕様	リノリウム (TFリユーム)			
壁仕様	1面鏡			
設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	アップライトピアノ 1,000円/日			
	バレエバー			
	32インチモニター			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(10脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00 -13:00	13:00 -17:30	17:30 -22:00	10:00 -22:00
(円)	7,500	11,500	11,500	26,000



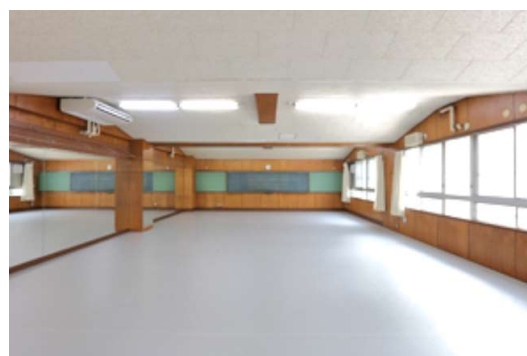
B1a



B1b



B2



B3

C1	C棟			
サイズ	14.5m×11m×5.3m(梁あり)			
面積	160㎡		(約48.5坪)	
更衣室	あり			
床仕様	リノリウム		(TFリユーム)	
壁仕様	1面鏡		バレエバー	
設備	CD/DVD/USB			
	Ipod等接続可			
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	ケランドピアノ		2,000円/日	
	バレエバー			
	40インチモニター			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(20脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00
	-13:00	-17:30	-22:00	-22:00
(円)	17,000	26,500	26,500	58,000

C2	C棟			
サイズ	12.5m×11.5m×5m(梁あり)			
面積	143㎡			(約43坪)
更衣室	ー			
床仕様	フローリング			(TFリユーム)
壁仕様	1面鏡			
設備				
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	グランドピアノ			2,000円/日
	パーティション			
	テーブル(180cm*45cm 6本)			
	スタッキングチェア(20脚)			
	ハンガーラック、ハンガー			
	ホワイトボード			
利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00
	-13:00	-17:30	-22:00	-22:00
(円)	14,000	22,000	22,000	49,000

T	体育館			
サイズ	15m×27m×6m(12m*6m*1m)			
面積	405㎡ (約122坪)			
収容人員				
床仕様	フローリング (体育館床)			
壁仕様				
	遮光カーテン・吸音			
設備				
	無料wifi(ルーター貸出対応)			
備品	グランドピアノ 2,000円/日			
	テーブル(180cm*60cm 10本)			
	パイプ椅子(50脚(250脚))			
	更衣用ロッカー			
	ホワイトボード*			
利用料金	10:00	13:00	17:30	10:00
	-13:00	-17 30	-22 00	-22 00
(円)	19,000	30,000	30,000	65,000

D	幼稚園棟			
サイズ				
面積	570m ²			
1 F	事務所、稽古場			
2 F	講義室2室			
1団体の占有使用				



そのほか、施設全体を撮影用に時間貸ししている。



正門



校庭



屋上



廊下



渡り廊下



階段

撮影利用料金			
①撮影基本料	10,800/1時間（搬入～撤収まで）※AM9:00～10:00は21,600円/1時間		
②撮影場所の使用料			
創造スペース	創造スペースの利用料		
	【午前区分】 10:00～13:00		【午後区分】 13:00～17:30
	【夜間区分】 17:30～22:00		※AM9:00～10:00は別料金設定有
その他スペース	校庭門、正門、校庭、屋上、廊下、渡り廊下、階段、トイレ		
	10,800/1時間（搬入～撤収まで） ※AM9:00～PM9:30（完全撤収）		
③駐車場の利用料	2t車まで	2t超	
6時間まで	500円/台	1,000円/台	
6時間超	1,000円/台	2,000円/台	※夜間留め置きは別途料金
上記①+②+③の合計料金			

(2) 芸能花伝舎の稼働状況

1) 創造スペースの状況

創造スペースの稼働率、使用及び利用の特徴（2017年度）				
スペース名	年間稼働率	仕様		利用の特徴
A 1	88.0 %	116.8 m ²	フローリング・鏡	稽古(長期・短期)・大規模会議・イベント *2014年に会議室から稽古場仕様に変更(壁面鏡・ウッドフローリング化)したところ稼働率が上昇した。
A 2	72.2 %	58.4 m ²	学校床	普通教室 小規模稽古・会議・撮影・イベント
A 3	76.6 %	58.4 m ²	学校床	*引き戸、廊下側壁面を改装してしまっているが、学校の教室シーンでの撮影利用ニーズは高い。
A 4	89.4 %	120 m ²	フローリング・鏡	稽古(長期・短期)・イベント
B 1 a	90.5 %	112 m ²	リノリウム・鏡	稽古(長期・短期)
B 1 b	92.5 %	112 m ²	リノリウム・鏡	稽古(長期・短期)
B 2	81.2 %	112 m ²	リノリウム・鏡	定期利用(決まった曜日・時間帯)メイン
B 3	85.1 %	112 m ²	リノリウム・鏡	定期利用(養成機関)もあり
C 1	85.5 %	160 m ²	リノリウム・鏡 天高：5.2m	定期利用(月-金[午前・午後]養成機関)メイン 平日夜、土日、春・夏休みは他の利用
C 2	92.7 %	143 m ²	リノリウム・鏡 天高：5m	定期利用(月-土養成機関)メイン 日曜日、春・夏休みは他の利用
体育館	95.1 %	405 m ² (舞台含む)	体育館床	ほぼ長期利用、イベントの場合メイン会場

芸能花伝舎の創造スペースの稼働状況は前頁の表に示すとおりである。以下に特徴を整理する。

- * 2017年度、利用申請件数は1,240件、利用団体数は391団体となっている。
- * D棟は演劇研修機関が占有する形で、稽古場と事務局が置かれている。
- * C棟はバレエ研修機関とオペラ研修機関の稽古場を主目的として、芸団協が建設し、新宿区が所有している。2つの機関が定期的に使用しており、空き時間を別団体に貸し出す形で運営されている。
- * すべてのスペースが70%を超す稼働率を示しており、A2、A3を除けば80%超の高稼働率となっている。
- * A2、A3は、58.4㎡と他のスペースに比べて小さい（約半分）ことが稼働率に影響していると考えられる。演劇の場合は読み合わせなどを含む小規模の稽古やワークショップ、会議などに使われることが多い。
- * A1は2014年に会議室仕様からフローリング床＋壁面鏡に変更したところ稼働率が向上している。A2、A3については、面積だけでなく床仕様の違いも影響している可能性がある。

利用団体におけるジャンル別割合								
演劇	音楽	バレエ	撮影	ダンス・舞踊	伝統芸能	一般	演芸	舞台技術
47.8%	15.6%	15.0%	8.8%	6.3%	2.7%	2.2%	1.1%	0.5%

- * 利用されるジャンルは演劇がほぼ半分、次いで音楽とバレエの15%で、上位3ジャンルで78.4%の稼働となっている。
- * 演劇に比べて音楽の割合が少ないが、芸能花伝舎のスペースは防音汚点で弱いことが理由の一つと考えられる。
- * 上位3つのジャンルは、練習場として花伝舎のA1、A4、B棟、C棟のような100㎡を超える大きなスペースを必要とする利用者が多く、他のジャンルは、自前のものや小規模なものなど花伝舎以外での練習場調達が可能なためではないかと推測される。
- * これに次いで、撮影利用が8.8%、時間にして521時間となっており、大きな収入源となっている。
- * 創造スペースの利用募集の方式は、下表のように利用期間によって優先順位をつけ、4つのグループごとに順次受け付ける方式をとっている。
- * 面積の大きい体育館とB棟の競争率は概ね3～4倍程度である。
- * 長期利用が優先的に押さえられる募集スケジュールになっているが、利用希望者との事前連絡で、細かく貸方の調整を行った上で利用日時を決定していることも高稼働の要因となっている。

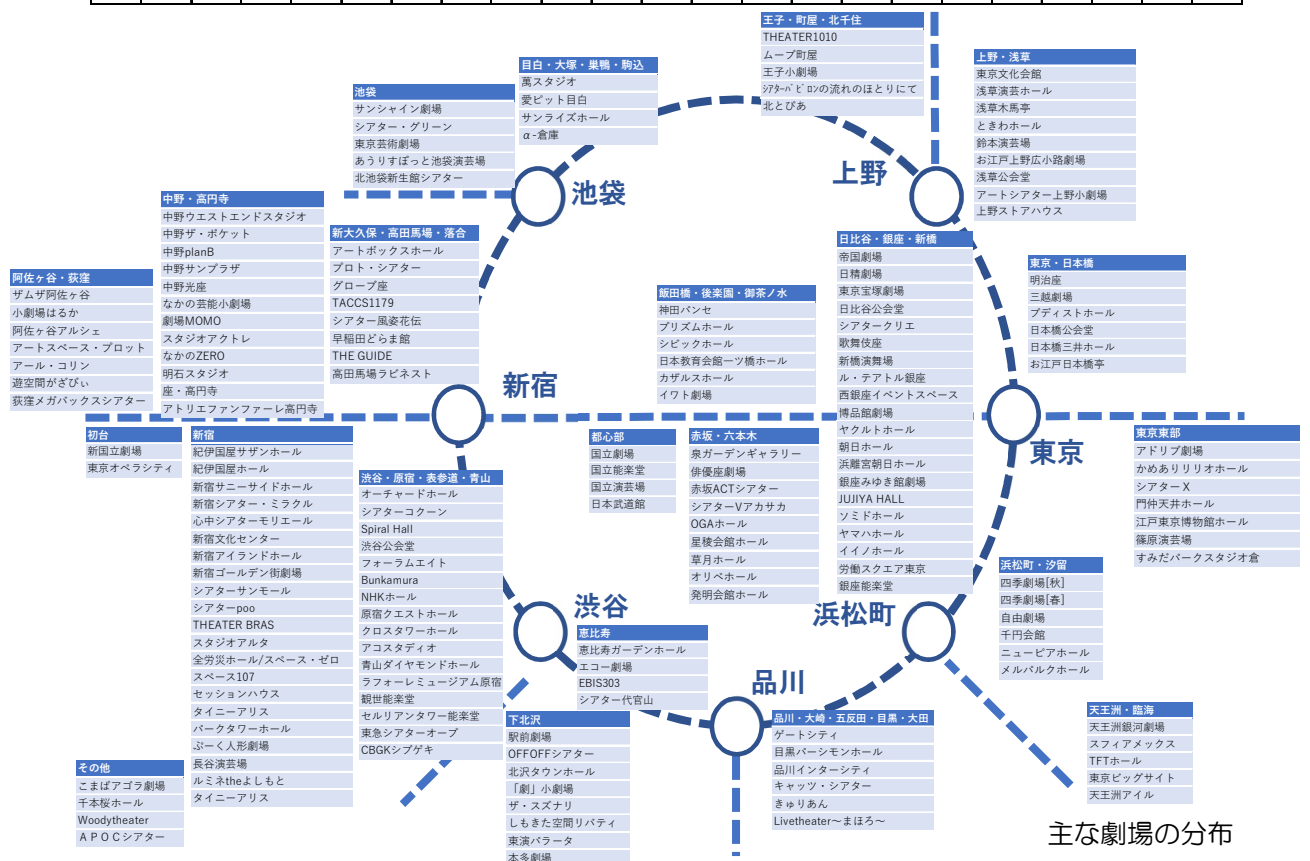
2019年度の定期募集					
貸方		長期優先〔30〕	長期優先〔7〕	定期募集	随時受付
年	旬	30日以上利用	7日以上利用	7日以上利用	空きがあれば随時受付
2019	4-6月	2018年 締切 7月10日（火） 結果連絡 7月31日（火）	2018年 締切 10月10日（水） 結果連絡 10月31日（水）	2019年 締切 1月10日（木） 結果連絡 1月31日（水）	2019年 2月1日（金）～
		2019年 締切 10月10日（水） 結果連絡 10月31日（水）	2019年 締切 1月10日（木） 結果連絡 1月31日（水）	2019年 締切 4月10日（水） 結果連絡 5月7日（火）	
2019	7-9月	2019年 締切 1月10日（木） 結果連絡 1月31日（水）	2019年 締切 4月10日（水） 結果連絡 5月7日（火）	2019年 締切 7月10日（水） 結果連絡 7月31日（水）	2019年 8月1日（木）～
		2019年 締切 4月10日（水） 結果連絡 5月7日（火）	2019年 締切 7月10日（水） 結果連絡 7月31日（水）	2019年 締切 10月10日（木） 結果連絡 10月31日（木）	
2020	1-3月	2019年 締切 4月10日（水） 結果連絡 5月7日（火）	2019年 締切 7月10日（水） 結果連絡 7月31日（水）	2019年 締切 10月10日（木） 結果連絡 10月31日（木）	2019年 11月1日（金）～
		2019年 締切 7月10日（水） 結果連絡 7月31日（水）	2019年 締切 10月10日（木） 結果連絡 10月31日（木）	2019年 締切 1月10日（木） 結果連絡 1月31日（水）	

次に、利用団体の所在地について見てみる。表に示されているのは申請者の住所であり、必ずしも利用団体の所在を示しているものではないが、一定の傾向は確認できる。

- * 申請者の所在では、東京都が83%と突出しており、次いで神奈川県となっている。
- * 東京都の中での内訳は新宿区、渋谷区、港区の3区で40%を超える。その他の区では中野区、杉並区、世田谷区、千代田区、目黒区と続く
- * 花伝舎の利用の約半分を占める演劇に使われる劇場の多くは新宿区、渋谷区、豊島区、港区に集中しており、必然劇団の事務局もそれらを利用しやすいエリアに集中していると考えられる。
- * とは言うものの、23区でのばらつきを見れば、東京の東側、北側の利用が少なく、そのエリアの需要を拾い切れていないとも考えられる。

東京都		神奈川県					埼玉県	千葉県	その他
82.9%		7.4%					2.6%	1.0%	6.1%
23区	他	川崎市	横浜市	他					
76.3%	6.6%	3.2%	2.3%	1.9%					

新宿	渋谷	港	中野	世田谷	杉並	千代田	目黒	品川	豊島	中央	練馬	台東	文京	江東	葛飾	板橋	大田	墨田	北	江戸川	荒川	足立
16.9	12.5	10.8	6.4	4.0	4.1	3.6	3.1	2.8	2.3	2.3	1.6	1.3	1.0	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.0



最後に、花伝舎管理課課長の関伊佐央氏からのヒアリング事項は以下の通り。

- * A4はA1よりも広く、稼働率は若干高いが、10m×12mと真四角に近いので、舞台での実寸を取りにくいとの指摘がある。稽古には実舞台の間口分の広さを確保できることがとても重要。
- * メンテナンス上、すべてのスペースの床は、くぎ打ちを禁止しているが、天井高のあるスペースでは大道具を固定する上でくぎ打できるほうがより安全性は高くなる。床の仕様には工夫が必要。

＊傾向としてバレエの利用が増えてきている。しかし、床はリノリウム仕上げ、壁面は鏡が求められる。リノリウムは直貼りではなく上げ床を含むクッション性が必要であるが、床の硬さにも人により好みがある。また、定期的な張替えが必要なため、フローリングに比べて維持費がかかる。

＊施設全体の受電容量は196kwである。

2) 事務所スペースの状況

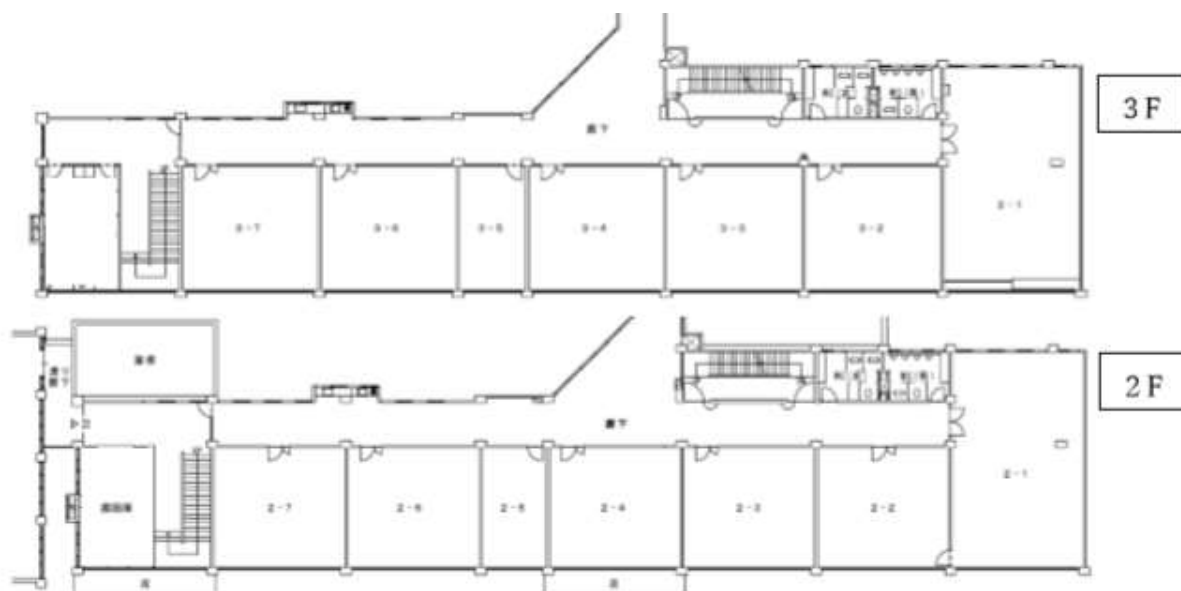
花伝舎には、稽古場などとして活用される創造スペースのほかに事務所スペースがある。A棟2、3階に各7室、全部で14室の事務所スペースがあり、芸団協などの15の芸能・芸術関係団体が事務所を構えている。(2019年3月現在)利用状況は下表の通り。1団体が2室利用のほか、1室を複数団体がシェアする利用もある。占有率はほぼ100%となっている。

賃料は公表していないが、周辺の事務所の賃料相場よりは若干低めの設定となっている。

利用状況(2F・3F各7室)

2-1	団体①(1/2)	3-1	団体⑩
2-2	団体①(2/2)	3-2	団体②(2/2) [1/3] ⑤(2/2) [2/3]
2-3	団体②(1/2)	3-3	団体⑩(2/2)
2-4	団体③[0.5] ④[0.3] ⑤[0.2]	3-4	団体⑩(1/2)
2-5	団体⑥[0.5] ⑦[0.5]	3-5	団体⑫
2-6	団体⑧	3-6	団体⑬[0.5] ⑭[0.5]
2-7	団体⑨	3-7	団体⑮(1/2)

(1/2)利用部屋数 [0.5]シェア割合



3) 維持管理の状況

花伝舎は、午前10時から午後10時までの12時間、年間358日の営業を行っている。運営は、受付3名+警備員を基本とし、その他に総務経理担当者がいる。

施設管理は一括して管理会社に委託。警備は有人警備と機械警備で対応している。

管理業務の概要

シフト業務	早番 9:00-17:00	開館・閉館業務、窓口・電話対応、備品貸出、ロケハン・下見対応
	遅番 14:30-22:30	
	管理番 10:00-18:00	利用関係書類作成・発送、定期募集、メンテナンス、修繕維持
警備業務	警備員 9:30-22:30	窓口業務・駐車場管理・巡回警備

管理会社に委託する管理業務の概要

■清掃管理業務		
1.日常清掃	358日	8:00-16:00 7h/日 1名
2.定期清掃	年1回	
3.ガラス清掃(外面)	年1回	
■植栽管理業務	年2回	
■防虫防鼠業務	年2回	
■機械警備業務		
■有人警備業務	358日	9:30-22:30 11h/日 1名
■事務管理業務		官公庁折衝・連絡・防火管理補助等
■設備管理業務		
1.定期保守業務		
(1)電気設備	毎月/年1回	受変電設備保守点検/法定点検 プレフィルター清掃
(2)空調・換気設備	年2回	
(3)給排水・衛生設備		
受水槽・高架水槽	年1回	
増圧給水ポンプ	年1回	
(4)消防用設備	年2回	
2.巡回点検業務	年6回	緊急対応含む

(3) 芸能花伝舎の活用状況からみえるバックヤードの課題

(稼働状況・潜在的な需要から見たバックヤードの空間的・機能的課題)

花伝舎を利用する団体のジャンルとして、演劇、音楽(オペラ)、バレエの3つで約8割の稼働をしている。これら団体は、体育館、C棟、B棟、A1、A4の100㎡を超えるスペースの使用を望んでいる。しかしながら、申し込みの倍率は3～4倍程度と需要をすべて充足できてはいない。

演劇団体が大型のスペースを利用する場合は、実際に演ずる劇場の舞台の間口を再現した稽古を行うため、面積だけでなく空間のプロポーシオンも重要な要件である。

演劇、音楽、バレエの需要は多いものの防音等の対策が必要であり、スペースの仕様や離隔距離については十分な配慮が必要。

新宿は好立地ではあるが、東京の北東エリアの需要喚起ができていない可能性がある。

2. 芸術団体（主に演劇）の創造活動におけるバックヤードの現状と課題

（１）人材育成/トレーニング/練習のための空間に関する現状と課題

バックヤードを使用する団体の状況と要望を把握するため、公益社団法人日本劇団協議会（以下、劇団協）の方々からヒアリングを行った。

事務局長：藤木香氏

常務理事：仲村和生氏（演劇集団キャラメルボックスチーフプロデューサー）、

同：金本和明氏（劇団民藝制作部）

1）東京圏における主な稽古場施設

都内の主な練習スペース						
施設名 室名	面積 (㎡)	12h利用料 (円/日)	㎡単価 (円/㎡)	サイズ (m×m)	天井高 (m)	備考
①芸能花伝舎 最寄り駅 丸ノ内線西新宿駅 徒歩6分						
体育館	405	65,000	160	15×27	6	
B 1 a	112	26,000	232	8×14	3	
A2	58.4	17,000	291	7.3×8	3	
②水天宮ピット 最寄り駅 半蔵門線水天宮前駅 徒歩2分						
大スタジオ	260	96,000	369	16.9×15.5		倉庫/控室付
中スタジオ 1	120	26,000	217	13.9×8.6	2.4-2.7	
中スタジオ 2	71	16,000	225	13.9×8.6	2.3-2.6	
小スタジオ 1	50	3,000	60	13.9×8.6	2.6-2.9	
小スタジオ 2	50	3,000	60	13.9×8.6	2.5-2.9	
小スタジオ 3	30	2,000	67	6.0×5.0	3	
③すみだパークスタジオ 最寄り駅 総武線錦糸町駅/半蔵門線錦糸町駅 徒歩12分						
第1スタジオ	399	66,028	165	19×21	4.7 (4.2)	
第2スタジオ	264	44,429	168	12×22	7.8 (6.0)	
第6スタジオ	388	80,971	209	18.5×21	7.3 (4.4)	
第7スタジオ	111	21,686	195	10.3×10.8	4.2	
④SIM STUDIO 錦糸町 最寄り駅 総武線錦糸町駅/半蔵門線錦糸町駅 徒歩6分						
A スタジオ	125	48,000	364	11.1×11.3	4.17-4.4	ロフト付き
B スタジオ	125	40,000	320	11.1×11.3	2.56-3	ロフト付き
C スタジオ	125	43,000	344	11.1×11.3	5.63-6.3	ロフト付き
⑤SIM STUDIO お台場 最寄り駅 りんかい線東雲駅 徒歩6分						
A スタジオ	181	65,000	359	9.5,×14+6×8.4	6	ロフト付き
B スタジオ	181	65,000	359	9.5,×14+6×8.4	6	ロフト付き
C スタジオ	181	65,000	359	9.5,×14+6×8.4	6	ロフト付き
⑥新宿村スタジオ 最寄り駅 丸ノ内線西新宿駅 徒歩7分						
CENTRAL106平日	402	277,200	690	23.7×15.2	4.98-5.5	
CENTRAL 106土日	402	359,800	895	23.7×15.2	4.98-5.5	
CENTRAL B205平日	242	157,500	651	14.3×15	5.6	
CENTRAL B205土日	242	206,100	852	14.3×15	5.6	
WEST303平日	106	184,800	1,744	14.3×15	5.6	
WEST303土日	106	104,800	989	14.3×15	5.6	

この他、国立オリンピック記念青少年総合センターがある。利用料金は切実な問題であるため、優先順位としては、花伝舎、水天宮ピット、すみだパークスタジオ、SIM STUDIO 錦糸町、SIM STUDIO お台場となる。その上でも練習場が確保できない場合は新宿村スタジオとなるが、桁違いの料金となるため、動員力のある劇団でないと使うことができない。

2) 稽古場施設に関する課題

前述の稽古場は、一定の経済力（動員力）を持つ劇団にとっては恒常的に使えるスペースではあるが、競争が激しく希望に沿った利用ができない状況が続いている。一方、公民館などの公共施設を利用している団体は、公共施設が抽選漏れなどで使えない場合に、割高ではあってもやむを得ず使用している状況がある。

経済力のない小劇団などでは、稽古場として使える経済条件は一般的に60㎡で1万円/日を下回る場所となる。必然、区立などの公的な施設を活用することになるが、メンバーの誰かが居住または勤務していることが条件となり、申し込みも随時で抽選となるため、稽古場を転々とする状況がある。衣装や道具など必要な荷物をいつも持ちまわる過酷な状況となっている。道具を立て込んだままで、必要な荷物を置きっぱなしにできるスペースが圧倒的に不足している。

上記の稽古場を恒常的に使うことができる劇団やプロデュース公演の場合、公演のスケジュールは、使用する劇場の予約の都合で概ね2年前に決定する。しかしながら、花伝舎では30日を超える長期の場合でも8か月前までは予定が確定しない。その他のスペースも、長期の場合は随時受付ではあっても利用料金が割高となっている。

演劇公演の稽古期間は、概ね4週間から6週間である。30日の長期利用は貸方としては整合が取れているように見える。しかしながら、稽古期間のすべてにおいて大型のスペースが必要なわけではなく、読み合わせなどは小さな部屋から始まる。劇場の舞台の間口が確保できる大型のスペースが必要となるのは最後の1週間であり、練習場の貸方と需要は整合していない。（使用する劇場の舞台と同じ大きさの稽古場が長期に使えることが理想）

一つの舞台にかかわる人員は30名以上で、50名を超えることもある。稽古するスペースだけでなく、スタッフや出待ちの役者が待機する控室が必ず必要になる。その他、製作スタッフが常駐するスペースが必要となる。固定電話の需要はなくなったものの、外部と電話連絡ができ、コピー機やプリンターを使うことができるスペースは重要である。

(2) 各団体の事務局機能とストックヤードに関する現状と課題

どのような小さな劇団でも事務局機能は必要で、スペースを持ちたい団体は数多く存在する。加えて、劇団ごとに備品や書類を保管する必要がある。公演ごとに資料や道具、衣装が増え、順次処分しても一定量のストックヤードが必要となる。しかしながら、公演のために人的資源も経済資源も集中する必要のある団体が、経常的に事務所やストックヤードに多くの対価を支払う余力が少ないのが現状である。

練習場も都心だけでなく、江東区や墨田区などの周縁区まで拡散している状況から、地価の安いエリアであってもリーズナブルな価格で利用できるスペースがあれば需要は十分にあると考えられる。加えて、一つのスペースを複数の団体でシェアして使うことができれば、団体ごとに支払い可能な広さを確保することができる。スペースのシェアは、団体相互の交流のきっかけともなり、場所が生まれれば、その場所を中心とした創造活動の活性化も考えられる。

3. 上記課題の解決に向け、芸術団体の創造活動基盤の充実に関する検討等

(1) 新たな創造活動基盤の必要性

稽古場、事務所などの創造活動に必要なスペースは恒常的に不足している。実演芸術にとっての一つのゴールは公演である。本来、実演芸術を支える創造活動基盤は、その公演が行われる舞台を基準にしてバックヤードが整備される必要があるが、我が国においてはそのような連続した思考でバックヤードが整備される状況にはなっていない。花伝舎におけるC棟の建設やB棟の定期利用、D棟の占有使用が象徴するように、国を代表する国立劇場においても稽古場が満足に整備されていない現実がある。民間団体については考えるまでもない。

東京の地価を考えれば、立地に恵まれた場所に潤沢なスペースを確保することは困難を極める。限られた状況の中で可能な整備がなされる状況の中では、実際の劇場の舞台の間口や天井高が確保できる稽古場は限られている。花伝舎の利用申請の倍率が3～4倍にもなっていることから、このようなスペースを増やしていくことは実演芸術を継承・発展させるために不可欠と考えられる。

また、活動する団体や実演芸術にかかわる人たちの裾野を広げることも、実演芸術の継承・発展には重要な事項である。まだまだ経済的に自立しきれない団体や経済基盤が弱い団体にも活用しやすい基盤整備が求められている。

(2) 創造活動基盤の備えるべき空間・機能など

創造活動基盤は、公演が行われる劇場から想起されるべきものと考えられる。

具体には

- ① 必要な寸法と広さ、高さを備えること。
 - ・サンシャイン劇場：800席 13m×8.2m×5m (W×D×H)
 - ・世田谷パブリックシアター：600席 10.9m×11.8m×9m (W×D×H)
 - ・紀伊国屋サザンシアター：470席 10m×10m×6m (W×D×H)
- ② 公演にかかわる人員が収容できる規模と空間の種類があること。
 - ・1公演にかかわる人員：30～50名
- ③ 公演にかかわるセクションごとに必要な諸室があること。
 - ・控室、衣装/道具、製作(コピー、プリンター等)、水回り、他
- ④ 稽古の段取りに合わせたサイズのスペースがあること。
 - ・読み合わせ→たち稽古→リハーサル
- ⑤ リーズナブルな値段で、一定期間占有できること。
 - ・道具を立て込んだままで、必要な荷物を置きっぱなしにできるスペース
- ⑥ 床/壁仕上げが機能的であること。
 - ・フローリング、リノリウム/鏡 など
- ⑦ 防音への配慮がある程度あること。
 - ・防音対策または離隔距離の確保
- ⑧ 資材の搬出入が容易なこと。
 - ・搬入車両の横付けが理想→それに代わる揚重設備
- ⑨ 必要な書類、備品を継続して集積管理できること。
 - ・リーズナブルな料金で、長期にわたって事務局機能が置けるスペース

(3) 立地

利用団体にとっての優先度として、まずは活用できる創造活動基盤が増えること。次に利用料金がリーズナブルであることであると考えられる。したがって、東京都心にスペースを求めることは端から困難である。とはいうものの、かかわる人員が多いこと、衣装、道具など必要な物品が多いことから、公共交通機関に恵まれ、主要な道路から近く、特に高速ＩＣから至近の距離であることが望まれる。加えて、音の問題もあることから、近隣から適度な距離をもつ立地から選定する必要がある。非常に難易度の高いものとなる。

また、芸能花伝舎の利用状況から、利用する団体は、東京の西側、南側エリアと神奈川県に偏在しており、東京の北側、東側エリアの需要を充足していない可能性がある。劇場の集積は、渋谷、新宿、池袋などにあり、利用する団体の所在もそれに紐づいて偏在しているものとは推測されるが、今後一層の実演芸術の発展のためには、裾野を広げる必要があり、立地としてこれまでなかったエリアに着目することも重要な視点と考えられる。

創造活動基盤の整備には、規模的にまとまった土地が必要であり、長期にわたって安定的に活用できるものである必要がある。利用料金の設定の点からも、民間所有地よりは公有地から選定される可能性が高い。また、経済合理性だけに着目することでは創造活動基盤の整備の可能性は狭くなる。実演芸術にかかわる人材や団体が集積することで、芸能花伝舎が地元新宿区と連携して行っているような、区民参加型のワークショップや地元参加のイベントの開催など、立地する地域に対して実演芸術の魅力やそれを活用した様々な体験を提供・共有できる仕組みを工夫することも重要である。

創造活動基盤を利用する団体やメンバーが空間を共有し、ワークショップなどのイベント等での交流や情報交換の機会を増やすことができれば、実演芸術に関わる創造活動を活性化させる相乗効果も期待できる。

創造活動拠点を単にバックヤードとしてだけとらえるのではなく、周辺のホールやイベントスペースなど実際に公演等が行われている施設との連携によって、エリアの創造活動を活性化する役割を担わせることも重要な視点と言える。その意味で、周辺の施設の集積にも着目する必要がある。

最後に、立地を述べる項で記述すべきことではないが、利用しやすい基盤を整備する観点から、利用する団体に運営を一定程度任せて維持費を抑えることや、会員制を採用するなど運用の方式にも工夫が必要である。また、初期投資を抑えることも重要であるため、必要最低限の整備でスタートし、需要に応じて段階的に整備いく方式も検討する必要がある。

4. その他，上記の実施に必要な業務（モデルケースの想定：足立区立千住第五小学校跡地）

（１）立地特性

検討対象地は、都心から約10kmの位置にあり、北千住駅から東武伊勢崎線で2つ目の駅：五反野駅の至近に位置する。北千住エリアは、近年、東京芸術大学や帝京科学大学、東京電機大学などの大学が集積するなど、若者の街として注目を集めている。歴史的には、日光街道、水戸街道、奥州街道の日本橋から最初の宿場として栄え、現在も鉄道6線が乗り入れる交通の要衝である。ＪＲ常磐線と東武伊勢崎線、京成線、つくばエクスプレス線を介して、東北の太平洋沿岸地域や群馬、栃木、茨城の北関東３県、埼玉県、千葉県など首都の東側エリアの玄関口となっている。地下鉄線は、日比谷線、千代田線、半蔵門線がそれぞれ相互直通運転を行っており、都心からもアクセスの容易なエリアとなっている。

図2-1に検討対象地の位置を、図2-2に乗り入れ鉄道路線と主要道路を、図2-3に周辺地域との関係をそれぞれ示す。表2-1に北千住と検討対象地までの東京都心からの距離と所要時間の目安を示す。



図 2-1 検討対象地の位置



図 2-2 乗り入れ鉄道路線と主要道路



図 2-3 周辺地域との関係

手段	経路	出入口/区間	距離	時間
首都高	中央環状線	千住新橋	0.5km	01分
	6号三郷線	加平	2.6km	06分
徒歩	五反野駅		0.5km	05分
	北千住駅		2.0km	20分
	千住車庫前		0.2km	02分
タクシー	北千住駅西口		2.0km	05分
バス	草43.北47 王49	北千住駅前	千住車庫前	08分
電車	J R	東京	北千住	27分
		上野	北千住	09分
		日暮里	北千住	07分
	千代田線	西日暮里	北千住	05分
		赤坂	北千住	25分
	日比谷線	六本木	北千住	35分
		銀座	北千住	25分
		上野	五反野	13分
		六本木	五反野	39分
		銀座	五反野	29分

表 2-1 都心からの距離と所要時間の目安

検討対象地は、最寄り駅：五反野駅から徒歩５分。北千住駅からは徒歩２０分の位置にある。都心からは、ＪＲ常磐線、東武伊勢崎線、つくばエクスプレス線、地下鉄千代田線、同日比谷線、同半蔵門線が乗り入れている。大手町から北千住までの所要時間は１６分である。国道四号線梅田交差点から５０ｍ、首都高速中央環状線千住新橋出入口から５００ｍ、６号三郷線加平インターから２.５ｋｍの位置にある。

北千住駅周辺には、東京芸術大学千住キャンパス、東京芸術センター、シアター１０１０、東京電機大学１００周年ホールなどがある。西新井駅前には足立区西新井文化ホールがある。

参考として、新宿駅と芸能花伝舎、新国立劇場の位置（図２-４）と北千住駅と検討対象地の位置（図２-５）を同縮尺で並べると以下の通りである。

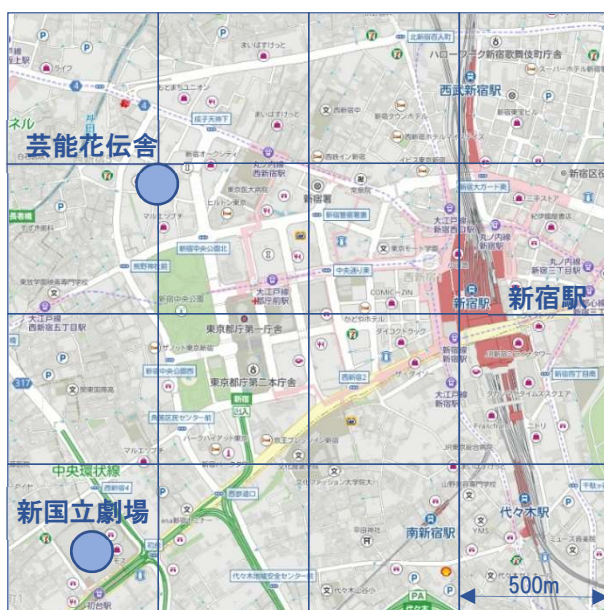


図 2-4 新宿駅と芸能花伝舎の位置



図 2-5 北千住駅と検討対象地の位置

（２）施設概要

検討対象の概要は以下の通り。

名称	足立区立千寿第五小学校				
所在地	東京都足立区足立 1 - 1 3 - 1 0				
都市計画	第二種住居地域(一部近隣商業地域)/準防火地域/第3種高度地区				
建蔽率	60(80) %		容積率	300 %	
敷地面積	6,657 ㎡				
建物概要	校舎			給食棟	体育館
建築面積	1,305㎡			125㎡	729㎡
延床面積	907㎡	1,993㎡	867㎡	96㎡	1,689㎡
	5,552㎡				
建設年	S35年	S36年	S42年	S36年	S46年
階数	地上3階/塔屋1階			地上1階	地上3階
構造	鉄筋コンクリート造（体育館屋根：鉄骨造）				
その他	耐震改修工事済				

同小学校は、すでに閉校しており、足立区は活用に向けての検討を行っている。

(3) 活用に向けての課題

1) 活用主体

廃校となった小学校を活用することになるため、その活用方針は、近隣住民、千寿第五小学校の同窓会、足立区議会に対して十分説明できる活用意義を持つ必要がある。また、長期にわたっての活用が前提となるため、活用主体は継続的な維持管理・運営が行える法人格を持つ組織である必要がある。

2001年の文化芸術振興基本法の制定以来、幅広い世代の人たちに豊かな芸術体験を提供していくことは、文化政策の重点課題のひとつとなっている。実演芸術は、演じ手と観客が心を響かせ合うことによって成立する。芸能花伝舎が新宿区と連携して行っている様々な地域イベントやワークショップのように、実演家たちがその専門性を活かして地域と協働し、表現力、コミュニケーション能力、創造性を高めるための活動を展開する仕組みを構築できることが望ましい。

単に経済的対価だけで公的資産を活用するのではなく、新たな創造基盤が存在することで地域社会が豊かになる仕組みの構築を考えることができれば、整備の可能性も高くなる。

2) 法的留意事項

法的に留意する主な事項は以下の通り。

- * 建築基準法上、建物用途が小学校であるため、用途変更が必要。申請者は要検討。
- * 同、排煙設備の設置が免除されている。整備にあたっては区画などに留意が必要。
- * 東京都福祉のまちづくり条例の適用を受ける可能性がある。
→ 不特定多数が3階以上を活用する場合に昇降機の設置など。

3) 物理的留意事項

- * 電気、ガス、水道は改めて引き込む必要がある。
→ 受電設備、受水設備、配管、配線類も新たに整備する必要がある。
- * 耐震改修工事が完了しており、構造的な不安はない。
→ 床を抜いて天井高の高い空間を確保することは、特段の補強工事なしで可能。
→ 壁を抜いて平面方向に大きな空間を確保するには、若干の補強工事が必要。
- * 1階床は土間コンクリートなしで木製束+木製床組のため、利用の目的から、土間コンクリート打設+金属床下地の上、再仕上を検討する必要もある。
- * 近隣との距離が比較的近いこともあり、部屋によっては防音対策の必要がある。
- * 体育館屋根に雨漏りの形跡がある。防音を兼ねて対策が必要。

<資料編>

<活用例>

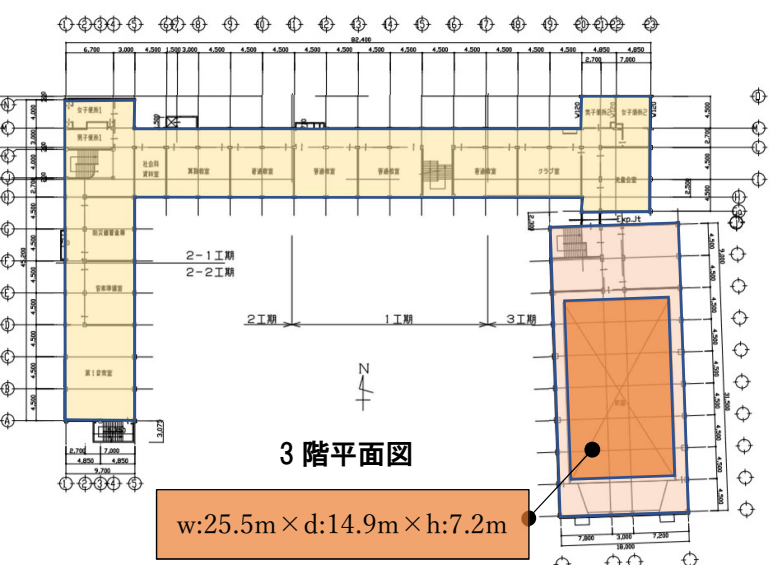
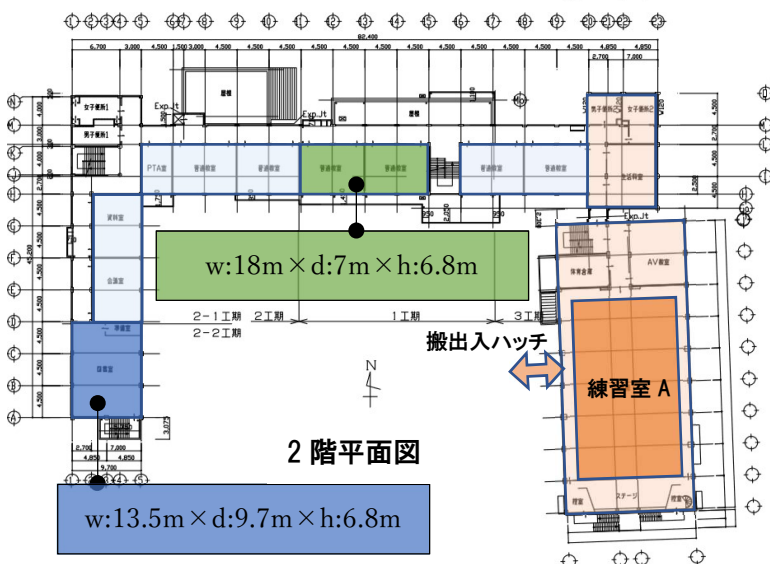
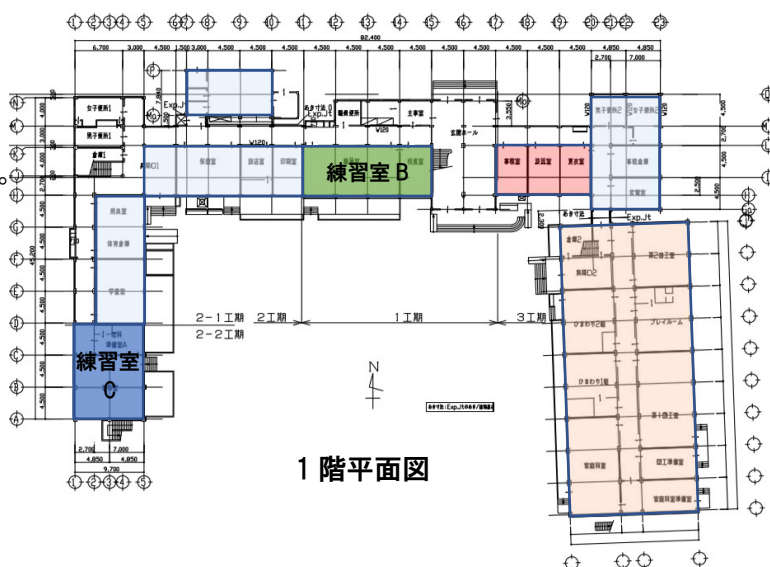
1階、2階を練習のためのスペース。3階を事務所・倉庫・撮影のためのスペースとし、都条例によるEVの設置を回避する。

平面的には、コの字型の校舎を東側、中央、西側の3つにわけてゾーニングする。

東側の体育館棟は、物品搬入用のハッチと楊重用のクレーンを設置し練習室 A とする。

中央部1階の職員室・校長室の間仕切り壁、上部2階教室の床を撤去し一体の大型練習室 B を設ける。

西側1階理科室と準備室の間仕切り壁、上部2階図書室の床を撤去し一体の大型練習室 C を設ける。



利用例	
	練習・会議
	練習室 A
	練習室 B
	練習室 C
	事務所・倉庫
	管理

<概算整備費>

創造活動基盤として活用する場合の最低限の整備費用について整理する。

1) 改修項目

①内装改修：床(フローリング)、壁、天井の更新。1 階床は、土間コンクリート打設。

②トイレ改修：トイレの内装改修。

③練習室改修：

練習室 A：2 階床(フローリング)、搬出入用扉＋楊重クレーンの新設、壁の防音対策、
屋根の防音対策（スタイロフォーム＋折版屋根）、ユニットシャワー 20
個設置

練習室 B：2 階床・梁撤去、耐震壁撤去＋補強、壁の防音対策

練習室 C：2 階床・梁撤去、壁の防音対策

④ 電気設備：受電設備、全館配電。

⑤空調設備：管理室・練習室の換気ファン設置＋ユニット空調機の設置。

⑤ 衛生設備：受水設備、排水設備

⑥

2) 概算改修費用

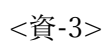
改修に必要な概算費用の一覧は、下表のとおり。供用開始に最低限必要と考えられる電気、水道の引き込み、下水のつなぎ込み、1 階の内装(体育館棟を除く)、トイレの改修に約 4.5 億円。2 階・3 階の内装改修にそれぞれ約 1.1 億円。練習室 A の改修に約 1.5 億円。練習室 B・練習室 C の改修にそれぞれ約 2 千 5 百万円。全体では約 8.5 億円必要となる。

事業開始時にすべての改修を行う考え方もあるが、必要最低限の改修で供用開始し、その後の需要を見極めながら、順次機能を充実させる考え方もある。

□概算改修費

(単位：百万円)

		1 階	2 階	3 階	練習室A (体育館)	練習室B (職員室)	練習室C (理科室)
建 築	①内装改修	98	81	81	55		
	②トイレ改修	12	12	12			
	③練習室改修						
	練習室				54	18	18
	屋根				20		
設 備	④電気設備工事	220			6	2	2
	⑤空調設備工事	3			12	4	4
	⑥衛生設備工事	100	20	20			
計		433	113	113	147	24	24
合計		854					



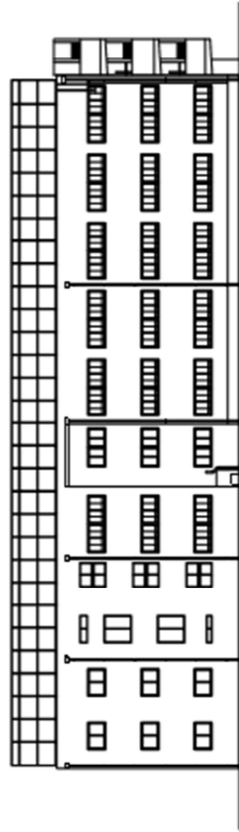




南立面图 S=1/500

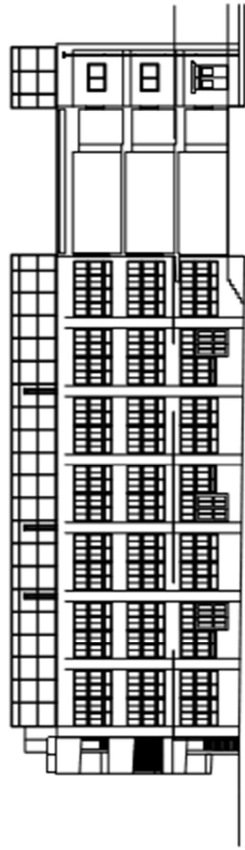


北立面图 S=1/500



西立面图 S=1/500

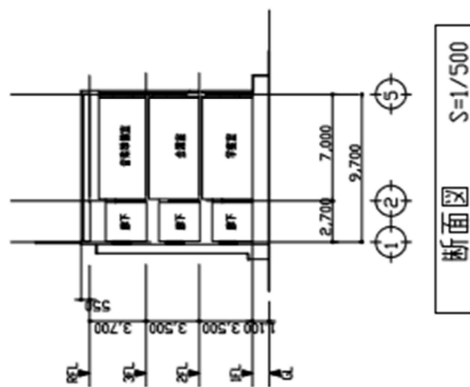
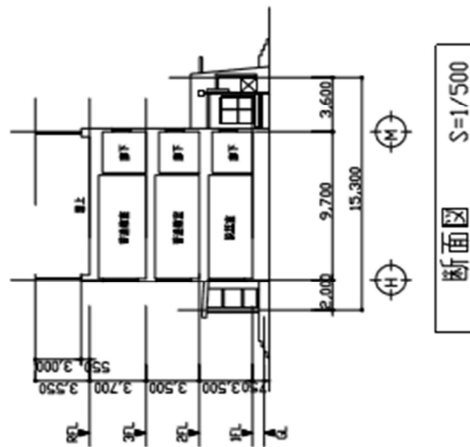
剖面对象

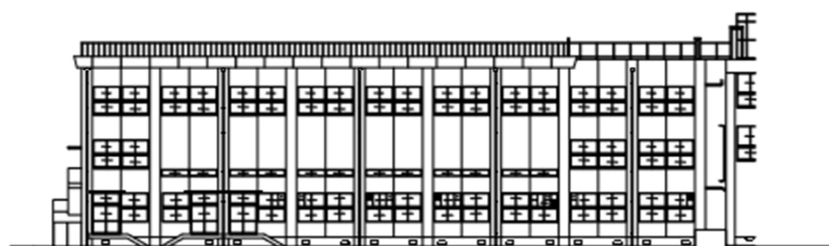


東立面图-1 S=1/500

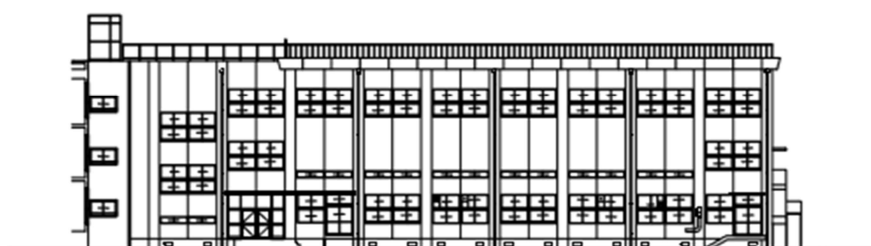


東立面图-2 S=1/500

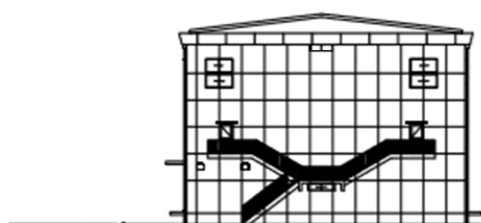




東立面図-1 S=1/500



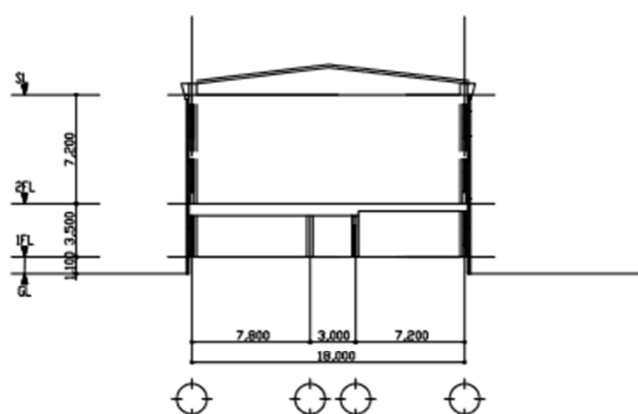
西立面図 S=1/500



南立面図 S=1/500



北立面図 S=1/500



断面図 S=1/500

体育館部分